



題字：鳩山威一郎

機関紙「友愛」

発行所

(一財)日本友愛協会

〒112-0002
東京都文京区小石川
1-10-13 小石川文ビル2階

TEL:03-5684-3188

FAX:03-5684-3186

E-mail:yuai@yuaiyoukai.com

http://yuaiyoukai.com

発行人：川手正一郎

編集人：

隔月1回 10日発行

年会費

2,000円

第十回定時評議員会開催

平成二十六年
計算書類及び事業報告書
公益目的支出計画実施報告書 承認

定款第十七条変更 評議員会にて評議員を選任
任期満了に伴う役員改選 評議員九名 理事六名 監事二名選任

六月二十三日(火)友愛サロンにおいて、第十回定時評議員会が開催され、平成二十六年計算書類(決算)並びに事業報告、平成二十六年公益目的支出計画実施報告書が承認された。また、任期満了に伴い、理事・監事・評議員の選任が行われ、新理事・新評議員が選任された。監事二名は留任となった。

今回の評議員会では、先の理事会議決を受け、定款変更が承認された。結果、定款第十七条評議員の選任・解任に関する条項は変更され、即時に実効され評議員、理事、監事の選任が行われた。

評議員会開催にあたり、に立ち、六月十二日より一週間の日程で訪問した、オーストラリア勤労青年連盟(OJAB/エヤップ)との友好員(五月三十一日逝去)五十周年記念式典に参加した模様などが報告された。

鳩山由紀夫理事長が挨拶

理事報告及びエヤップ(OJAB)訪問について、皆さまのご協力に感謝します。と井上和子評議員長。報告する鳩山由紀夫理事長。エヤップとのこれからの日本友愛協会の有益な活動を評価します。皆さまの力をお借りして今後の事を考えたいと挨拶



で、評議員の皆様のご協力をお願いします」と述べた。

第一号議案 第三号議案

定款に基づき、井上和子評議員長が議長に就任した。

第一号議案 平成二十六年

第二号議案 平成二十六年

度事業報告、第三号議案

平成二十六年公益目的支

出計画実施報告書は、同時

に審議されることになり、

理事長より詳細な事業報告

が行われた。計算書類に関

しては、議長の名指を受け、

事務局が詳細な説明を行っ

た。

金沢俊弘監事が、監査報

告を行った後、採決に入り、

第一号議案、第二号議案と

も全会一致で承認された。

第三号議案 平成二十六

年度公益目的支出計画実施報告書について協議され、採決の結果全会一致で承認された。

【計算書類・事業報告・

公益目的支出計画実施報告

書はすべて日本友愛協会ホ

ームページに掲載】

第四号議案

第四号議案 定款変更に関

する件について、理事長

より変更の理由などが説明

された。また金沢監事より、

補足説明が行われ、採決に

入った。結果、第四号議案

は全会一致で承認された。

この時点より「定款第十七

条 評議員の選任及び解任

は評議員選考委員会の決議

により行う」は変更され、

新たな「定款第十七条 評

議員の選任及び解任は評議

員会の決議により行う」が

有効となる旨、議長が宣言

した。

第五号議案

任期満了に伴う評議員・理

事・監事の選任

これを受けて第五号議案

任期満了に伴う評議員の選

任が行われ、九名の評議員

が選任された。続いて第六

号議案 任期満了に伴う理

事・監事の選任が行われ、

新任の井上浩義理事を含

め、六名の理事が選任され

た。また、監事は二名が選

任された。

【評議員・理事・監事の

氏名は、日本友愛協会ホー

ムページ/情報公開の項に

掲載】

議長より、直ちに就任承

諾書を受けるよう事務局に

指示が出された。

十二時二十分、すべての

協議を終え、評議員会は終

了した。

友愛クラブ最終例会開催

四十八年の歴史に幕・五三二回の例会

日本友愛協会の前身であ

る、友愛青年同志会創設時

のメンバーが、当時設定さ

れた「三十五歳定年制」を

受けて卒業。その卒業生

(OB・OG)が集い、毎

月一回の勉強会を開いてい

た。それが「友愛クラブ」

である。何と八月はお休み、

年十一回の開催で、五三二

回を数えるという長寿勉強

会である。

しかし、近年創設時のメ

ンバーも出席が難しくなる

など、諸般の事情から「メ

ンバーが元気な内に、最後

を締め括る」という信念の

もと、この第五三二回を以

て終了ということになっ

た。

最終例会となった七月八

日(水)は、昔からの顔ぶ

れも揃い、和気藹々のひと

ときを過ごした。

皆異口同音に「無くなる

のは寂しい」「惜しい」「ま

た別のかたちで」「年に一

度でも」と、終了を惜しむ

声があがった。川手、鶴巻

両世話人も、「クラブの残

余会費を、日本友愛協会に

寄付」を含め、「今後につ

いては一任して欲しい」と、

皆の思いを受け取った。

万感の思いを込めて挨拶する川手

正一郎世話人(右)と鶴巻克雄世

話人(左)。友愛活動の両雄



友愛時評

▼先月、筆者の勤める大学の総合図書館にクーデンホーフ・カレルギー伯の肖像画が寄託された。画家である甥のミヒャエル氏の作品である。

▼図書館がこの時期に毎年行っている「EUフレンドシップウィーク」のパネル展示も今年はク伯がテーマとされ、友愛をはじめとする日本との関係も含め、ク伯の劇的な生涯を紹介する内容となった。

▼記念講演会を依頼されたこともあり、クーデンホーフ・カレルギー家についても資料を見返してみた。クーデンホーフ家は、十六世紀のオランダ独立戦争の際にハブスブルク王家のために戦いフランドル地方に移住、その後フランス革命に迫られる形で西ポミアに移ったのだが、その際の忠勤が評価され皇帝伯爵家となった。▼一方、カレルギ

ス家はビザンティン帝国のフオーカス帝の後裔で、一派はヴェネツィアの貴族として栄えた。その末裔の娘マリイは帝政ロシアのバルト・ドイツ人貴族の母を持ちパリで育った。彼女がフランクツ・カール・クーデンホーフと結婚してクーデンホーフ・カレルギー家が誕生したのである。▼

この正にヨーロッパ全土を体現する血統に、日本人女性の最初の国際結婚が加わり誕生したク伯は改めて奇跡のような存在である。▼折しも、ギリシャと国際債権団の交渉決裂からヨーロッパ統合は岐路に立たされている。ヨーロッパの制定の功労者でもあったク伯は、シンボルや思想を重視していたが、仮に現状を目の当たりにしたらどうだろうか。経済先行の統合の限界を説くのか、それとも危機の時代こそ新たな飛躍の可能性を見出すのか。激動する情勢と不透明な先行きを占いながら、ク伯の肖像画を見つめ

ている。(ヒゲ)

懸け橋

〇JAB友好五〇周年記念訪問
友好関係合意書調印

新たな歴史への第一歩 先人の尽力に敬意
核拡散防止に関するシンポジウムウィーン市長主催レセプション出席

六月十二日（金）から六月二十五日まで、（第一陣十二日～十九日／第二陣十五日～二十五日）日本友愛協会とオーストリア勤労青年連盟（エヤップ）の友好五〇周年を記念して、友愛訪奥団がウィーンを訪問した。五〇周年記念式典を始め、多くの行事に参加、友好の絆を強めた。エヤップとは新たに友好協議書を作成、今後とも友好関係を続けて行くことが確認された。鳩山由紀夫理事長は、読者に自分の言葉でお伝えしたいと自ら報告を認められた。読者の皆さまにも、その雰囲気を感じていただければ、写真と共に掲載し、報告とさせていただきます。

訪奥団員名（敬称略・順不同）・・鳩山由紀夫・鳩山幸・川手正一郎・戸澤英典・高橋啓三・島崎照代・三ツ石潤司・本島阿佐子・ヨズア・バルチュ・原俊子・川手祥右・高橋佳大・羽中田元美（事務局）・河口ミヒヤエラ（通訳）

日奥の小さな懸け橋を育てたい

日本友愛協会
理事長 鳩山由紀夫

エヤップの「おもてなし」に感謝

私は「おもてなし」は日本の誇るべき文化と思っていました。ところが、私ども日本友愛協会を迎えてくださったエヤップ（オーストリア勤労青年連盟）の方々の心配りは、日本の得意芸が真つ青になるくらい素晴らしいものでした。まずはウィーンの空港に着いた時から空港を離れる瞬間まで、身をもって友愛を示して下さったエヤップのみなさんに心から感謝を申し上げます。

クーデンホフ・カレルギー伯の薦めで始めました友愛協会とエヤップのお付き合いは今年で満五〇年、

た。ヤップのシユスラー名誉会長ご夫妻と共にサーモントラウトの豪華な夕食をいただきました。さすがにここで生まれたザッハトルテの味は格別でした。

国連機関CTBTO（核実験禁止条約機構）訪問

ウィーンにはいくつもの国連機関があります。時間があれば伺いたいと申し入れておりましたら、土曜日にも拘わらず、CTBTO（核実験禁止条約機構）を視察させていただきました。ブルキナファソ出身のゼルボ事務局長が丁寧に対応してくださいました。

世界中の放射能測定器から時刻刻の値が入ってきつたりとした解放感を味わうことができ、人生のオアシスの一週間でした。

泊まったホテルはハプスブルグ皇帝が狩猟の館として使ったシェーンブルン宮殿の正面にありました。もちろん、宮殿の中に入り、マリア・テレジアが使用した部屋などを見物もしましたが、人混みが激しいので適度で切り上げ、それよりも広い庭を散歩コースにして楽しませてもらいまし

シェーンブルン宮殿の見事な庭園。遠近法を利用し、遙かに続いているように見える



マリア・テレジアアイエローと呼ばれる黄色の城が、真つ青な空に映えて鮮やかな美しさを誇っていた



CTBTOゼルボ事務局長と。土曜日も拘わらず、丁寧に案内してくださった



世界中から送られてくるデータ、情報を瞬時に表示。世界のどこで、放射能濃度が上がったのか解る



（通訳）

その後、ドンジョバンニを観て、歌唱力に感激。描写も激しく、オペラでここまでやるのかと、またもや興奮の一日でありました。

日曜はシユスラーさんのお嬢さん（エヤップ事務局長）の案内で、バスでウィーンから西にドナウ川沿いに向かい、ゆったり流れるドナウ川を眺めながら、お城で昼食、「生きていて良かったあ」と。バスが更に奥に進むと、上半身裸の鍛冶屋のおじさんの出迎えがありびつくりしましたが、彼に教わりながら、妻はトテンカンと叩いていました。夕食後、白夜の中で地元独特の吹奏楽を聴き、中世の衣装を纏った夜回り隊の一員に加えていただくな



ウィーンには多くの国連関連の本部、ウィーン支部がある。万国旗がたなびく広場は、平和の象徴



ウィーンの有名なホテルザッハーで夕食。見事な調度、素晴らしい料理、流石は名店とうならせる



ホテルザッハーのVIP待合室。時空を超えて、中世の貴族になったような気持ちにさせてくれる



オペラハウスの観客で、濃厚なオペラを鑑賞。日本人観客から鳩山元総理だと声があがる



ど存分に楽しみ、ホテルに戻ったのはそろそろ翌日になる頃でした。

核軍縮に関するパネルディスカッション

翌日のメインイベントは青年たちとの核軍縮に関する討論会でした。午前中に、竹歳誠在オーストリア大使を大使館にお訪ねし、午後から一路会場のある街に向かいました。

とにかくその会場の素晴らしいこと。クロースターノイブルク修道院の一室で行われましたが、その修道院にはオーストリア大公の冠など九〇〇年にも及ぶ貴重な文化財が陳列されていました。もったいなくもその一部屋で、オーストリアの軍縮局長クメント氏などとの間で討論会を行いました。

私からは、核兵器保有国が核を捨てることはなかなか進まない、憎しみの種をなくす努力をすることが大切であり、友愛を広めることが有意義であるという趣旨の話をいたしました。若者たちが熱心に質疑をして

友好協議書に調印。右からビンマ―事務理書、鳩山理事長、ペルコビツチ会長、シユスラー事務局長



くれたことに感激しました。クーデンホフ・カレルギー伯の母青山光子の墓に献花

火曜はクライマックスを迎え、午前中にクーデンホフ・カレルギー伯の母青山光子(墓石はMitsumi)

の墓前に、それぞれ思いを込めて花を供えてお参りをいたしました。今回は供えられていませんでしたが、日本人は醤油が好きだ

ろうと、観光客が醤油を供えることが多いと伺いました。同じ墓地にエヤツプの初代会長のブッフヴィーザ―氏の立派なお墓の部屋もあり、そちらにもみなで花を供えました。ひと月ほど前にブッフヴィーザ―会長のご夫人が亡くなられたと伺い、併せてご冥福を祈りました。

お昼はホテル近くの有名なレストランで、ターフェルシュピッツという牛肉の煮込み料理をいただきました。牛肉を骨つきで長時間煮込んだスープは絶品でした。幸などは四、五杯お代わりをしていたようでした。

友好五〇周年記念式典

―懸け橋―

友愛協会とエヤツプとの五〇周年を祝う記念式典は、寄宿舎の立ち並ぶエヤツプの敷地内で行われました。初代会長のお嬢様や五〇年前をご存じの方など、

ゆかりの方々がおいえくさいました。エヤツプのペルコビツチ会長方と友愛協会理事長の私との間で、*“Preserving Bridges”*と書かれた、両団体の協力の合意書に署名を行いました。その合意書には、「両者の友

愛の協力」の方法として、両団体の情報の交換、若者交流や文化イベントなどの社会奉仕プログラムの展開、両団体が協力する第三

国への貢献事業などを行いましたと書かれていました。ここまで期待をされていることに有難い思いを抱きながら、友愛協会の未来に向けて、責任の重さを感じた

ところでした。故中嶋信行理事をはじめ、両団体の交流に力を注いで来られた先輩諸氏に敬意を表します。継続は力なり。そして未来に向けて日頃の小さな架け橋を大切にしなければ。

市長訪問

水曜の午前中はウィーン市庁舎にて、ホイプル市長ご招待のレセプションをしていただきました。本来は

フィッシャー大統領領がお招きくださることになっていたそうですが、急きょドイツに旅立たれたとのことでした。現在、EUはシリアなどからの難民問題とギリシャの債務問題を抱えているので、しばしばトップ会

談が行われているようでした。自信満々のホイプル市長は、自分より市長職の長い市長は十三世紀にはいた

ようだが、などのご機嫌で、予定の時間をはるかに超えてお付き合いをくさしていました。

返礼晩餐会開催

シユテファン大聖堂などの観光やショッピングを少しの間楽しんだ後、最後の

夜は私が主催する返礼の晩餐会を、大聖堂をガラス越しに眺めることのできる素晴らしいイタリアンレスト

ランで開きました。みなさんこのレストランは初めてと仰っていました。料理もおいしく大層気に入っていたようです。

友愛協会の一行には、ドイツ歌曲関係者も数名おりましたので、和気あいあいのところで、彼らからオーストリアと日本の双方の歌の披露があり、盛り上がりを見せました。事務局の羽中田

さんから抹茶のサービスも。ハプニングと言えば、通訳の女性が討論会の直後に心筋梗塞気味になり入院をしたことでした。ここでも今回の訪問を取り仕切ったビンマー事務理事がその

きめ細やかさを発揮し、病院に連れて行ってくださったので事なきを得ました。彼女はその後快方に向かったと伺い安堵いたしました。彼女がいなくなった後半は、急きょドイツ語を話せるドイツ歌曲の先生方に助っ人として頑張っていた

ことができました。先生方に感謝です。

健康と云えば、川手常務理事の元気なことには驚きました。散歩の道すがら、川手理事とエヤツプとの協力を含め、友愛協会の今後について相談いたしました。が、具体的に何をするか考えていこうと言うことになりました。

―写真四面につづく―



豪華で落ち着いた雰囲気の中で、三十年来という暑さには閉口したが、それを上回る熱意に感動した



在オーストリア竹歳誠大使を訪問のため日本大使館へ。奥様にチョココレートの店などの情報を頂く



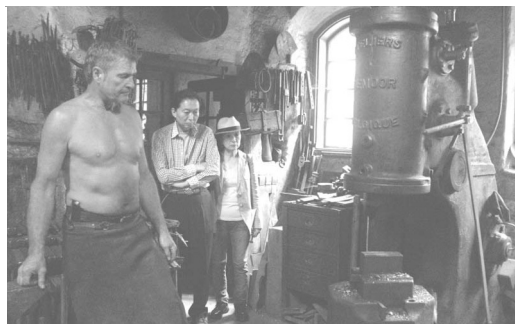
五つ星ホテルで食事。古きヨーロッパの雰囲気を満喫。名産のワイン、杏のデザートに舌鼓



日本から同行の大学生も、資料提供などを通じて、現地学生と交流。修道士の衣装も見事であった



荘厳で華やかな佇まいのクロースターノイブルグ修道院。広大な敷地は、手入れが施され見事な庭園といえる。院内の展示物は、世界的にも価値の高いもので、歴史を物語る。貴重な場所を見学できた



思わず全員がワーと声を挙げた、遅い鍛冶屋さんが上半身裸で出迎える。古い製法を守っている



青山光子の墓に献花。立派なお墓の立ち並ぶ、眺めの良い丘の上。全員で真っ赤なバラを捧げた



核兵器拡散防止に関するパネルディスカッションは、歴史的絵画に囲まれた一室で行われた



村の青年達が、ステップも軽やかに踊りながら歌って歓迎。小川のせせらぎと鳥の音が調和する



エヤツプ初代会長のお墓にもお参りした。お墓というより、小さな一軒家の雰囲気而立派なものだ



ウィーンの高校生の、核兵器に対する認識の高さに驚かされた。国の取り組みを考えさせられた



中世衣装に身を包み、街を一回り。夜回りといっても九時を回ってまだ明るい街で、タイムスリップ



シユテファン大聖堂を横に見るレストランで、返礼晩餐会を開催。理事長の挨拶に皆笑顔で応えた



お土産の基平を羽織ってご機嫌のホイブルウィーン市長。迫力のある話し振りに、圧倒される



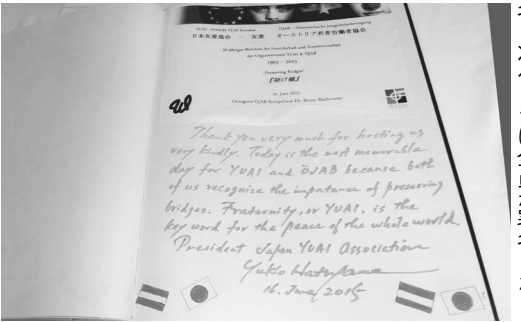
友好協議書にサインを済ませ、鳩山理事長(写真右)、ベルコピッチ会長(写真左)と記念撮影



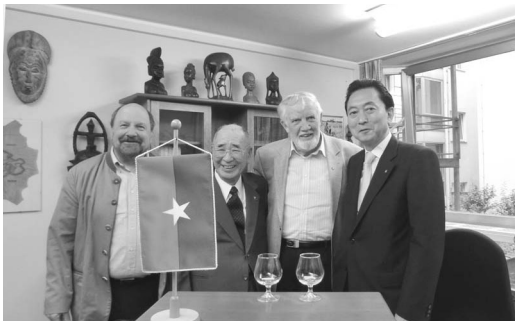
ドイツ歌曲コンクールの審査員の先生方による、混声合唱団。俄仕立てとは思えない見事な調和で



ウィーン市庁舎の屋根に輝く、金色のエンブレム「騎士の像ラートハウスマン」がプレゼントされた



エヤップが用意したサイン帳にメッセージを添えて鳩山理事長が署名。次ページに全員が署名した



シユスラー名誉会長の執務室。ブルキナファソの領事館も兼ねる、治外法権特殊な空間となっている



重厚な造りの市庁舎レセプションルーム。日章旗とオーストリア国旗が飾られて



会場の前で、団らんのひとつ。古くからのエヤップ会員も集い、和気藹々の雰囲気



エヤップの正面玄関で。平和を願う古い舌(ゼツノ教会の鐘の音を出す部分)が飾られている



シユテファン大聖堂の美しくも力強い迫力。ハプスブルグ家の墓所であり、ウィーンの観光名所



記念式典の六月十六日は、川手常務理事の誕生日。エヤップからのサプライズプレゼントに感激

25. Lieder- & Kammermusikabend
Benefizkonzert zugunsten der Flüchtlingshilfe im ÖJAB-Haus Greifenstein
23. Juni 2015
19:30 Uhr
ÖJAB-Haus Johannesgasse
Antonio-Vivaldi-Konzertsaal
Johannesgasse 8, 1010 Wien
KünstlerInnen: Elena Blosca-Bas, Klarinette
Aisaki Teruya, Bariton
Lana Trimmer, Violine
Jury Revich, Violine
Chiara Siciliano, Violine
Sophie Wang, Violine
Sandra Akija, Viola
Greta Benini, Klavier
Atilia Kiyoko Ceritoni, Violoncello
Mit Werken von:
P. Sarasate, M. De Falla, F. Wieniawski, J. S. Bach, J. Vivaldi, T. Koschitz, J. Brahms, H. Wolf
Eintritt frei!
Anmeldungen unter:
Tel: 01 597 97 35 - 0 oder per E-Mail: martina.steinbauer@oejab.at
Um Spenden für die Flüchtlingshilfe im ÖJAB-Haus Greifenstein wird gebeten.
Ihre Spende ist steuerlich absetzbar.
Spenden an:
Interkultureller Naturgarten
IBAN: AT47 4063 0425 1955 0000, BIC: TUVAT21XXX
Information: www.oejab.at/greifenstein
Wir bedanken uns für die Unterstützung bei:
LAND BURGENLAND COFELY VALUE Das Engste Netz MARI BUTTER

ウイーンでのコンサート/照屋篤紀さんの歌声に聴衆が聞き入った
最後の日のÖJAB主催の室内楽コンサートでは、ホール一杯のお客様の前で照屋さんは大変立派なお歌になり、お客様みなさん、彼の歌唱に魅惑されていたこともご報告します。
楽しい旅行を本当にありがとうございました。鳩山先生ご夫婦、井上和子様、ご同行の皆様にごかくれぐれもよろしくお伝え下さいませ。

懐かしのウィーンで新しい体験
国立音楽大学教授 本島 阿佐子
ウィーンでは大変お世話になりました。お陰様で、普段はとても経験出来ないウィーンを沢山体験させていただきました。
特にÖJABと友愛の友好五〇周年記念式典に参加させていただき、みなさまの長い歴史を共有させて頂いたことは本当に感慨深いことでした。
鳩山先生ご夫妻と一緒に、ウィーン市長のお話を身近で伺うことができたのも大変貴重な体験でした。
そのほか沢山美味しいお食事、多くのイヴェント：思い出すのが大変なくらい盛りだくさんでした。
皆様がお帰りになってからの自由行動もÖJABの皆さんに大変良くして頂きました。彼らの十字架設立三〇周年記念山登りにも参加して参りました。

時事川柳 服部迪夫 作
「時事川柳研究会」会長
—チヨモランマ雪崩 温暖化最高峰を怒らせる
—箱根山 注目度富士山越えを果たす
—中畑流監督術 監督が黄金週間完勝し
—白鵬破る 逸の城やつと出来ませ恩返し
—豊洲・新国立競技場 暗雲が立ち込めてきた五輪熱
—照ノ富士関 口上が横綱級と称えられ
—年金漏洩問題 最晩年詫び状一通渡される
—十八歳 与野党のどちらに転ぶ初切符

機関紙『友愛』原稿募集
機関紙『友愛』に皆様のご投稿をお待ちいたしております。内容は、ボランティア活動の報告、地域の名物の紹介、季節のお便り等々、何でも結構です。ご自慢の写真も大歓迎です。皆様の『友愛』に奮ってご投稿ください。詳しくは事務局までお問い合わせください。
締切り：特に設けません。いつでもご投稿ください。掲載ご希望の月がある場合は、2ヶ月前に原稿が届くようお願いいたします。
要領：手書き原稿・データ原稿・メールでの投稿何でも対応可能です。
写真：紙焼き(カラー・白黒)・デジカメデータどちらでも。

編集後記
◆友愛には多くの活動歴があります。この度の「友愛クラブ」の解散は誠に残念であり、忸怩たる思いです。友愛のスタートは昭和二十八年ですが、発足して間もなく青年とは何歳までか討議し、三十五歳と決定しました。そして執行部の役職を三十五歳定年としました。その結果、定年後のメンバーの拠り所として友愛クラブを設立したのです。昭和四十二年八月九日ホテルニュージャパンでの第一回の例会は、今でも忘れることができます。それ以来、今日まで四十八年間八月を除く年十一回の例会で五三二回の開催となりましたが、会員の高齢化によりやむなく七月を最終例会とした次第です。会員の皆様には一方ならぬお世話になりましたが、友愛の志を若い人たちに継承していただくよう、特にお願いしたいと思っています。
有難うございました。(K)
◆ウィーンに行つて来ました。三十年振りという暑さのなか、冷房も無い古いお城の様なホテルは、まるで石釜状態。どうやっても冷める事のない保温性の良い石に囲まれて。石釜ピザや石釜パンが何故美味しいのか、身を以て体験して理解できた様な気がします。何しろおヘソの周りから、じわ〜と温かさが込み上げて来て、それが翌日も続き。ご理解頂けますでしょうか。ともあれ、記念式典は大成功でした! (も)